

令和5年5月10日 議会改革特別委員会 議事録

10時00分 開会

○出席委員 (7人)

委員長 網谷 芳孝

副委員長 西村 一啓

委員 藤川 和弘、小中 真樹雄、小田上 尚典、北地 範久、日域 究

議長 賀屋 幸治

○欠席委員 (1人)

委員 原田 孝徳

○網谷委員長 定足数に達していますので、これより議会改革特別委員会を開会します。日程1、議会報告会(議会改革特別委員会)意見・要望についての確認ということで、サイドボックスに掲載しております、まとめの回答部分を協議してまいりたいと思います。

10時04分 休憩

10時07分 再開

○網谷委員長 説明不足だったか分かりませんが、全部の回答を審査するのもどうかという意見がございましたので、網かけしている空白の部分だけを審議してはどうかということですが、どうですか。

小田上委員。

○小田上委員 議会報告会の班長会議と、提出を受けた議員全員協議会もあったと思います。その中で、各所掌の委員会に振られるからあまり深く触れてない気がするんです。なので、ほかの委員の方の意見も必要ですけども、一通り見たほうがいいのかという意見があるのであればやったほうがいいのかと思います。班長会議にしても、議員全員協議会にしても、文言の一言一句を丁寧に見ていたわけではないと思いますので。

○網谷委員長 という小田上委員の意見です。一通り所掌の範囲は審議するという意味ですね。

○小田上委員 はい、皆さんの意見も。

○網谷委員長 どうですか、皆さん。それじゃあ、全部やりましょう。はい、分かりました。今の将来的人口が減少する中でという文言を入れたらいいということですね。はい、分かりました。

この人口減少についての意見の中で、あとはよろしいですか。

なければ、次に行かせていただきます。よろしいですね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 次は、おがたピアのB班ですね。他市と比べて議員数などの比較をしたのか。多いのか少ないのかという質問ですが、回答では、人口規模で近い江田島市が16名、竹原市は14名、安芸高田市16名ということで、大竹市が突出して多い少ないということはないとなつとるんですが。

よければ、次に行かせてもらいます。

議員定数を考える際に市民の声は聞いたのかという質問ですが、議会改革特別委員会ではそれぞれの委員が市民から意見を聞くとともに、議会報告会で議員定数についてアンケートを集め、その結果も参考にしながら協議の結果、結論を出しているという回答になっておるんですが、よろしいですかね。

それでは次に、市民の意見を聞く場を多く設けてほしいということで、網かけの部分です。引き続き、議会報告会等を通じて、市民の皆さんの声を直接伺う機会を設けていきたいと考えていますという文言にしたんですが、よろしいですかね。

小田上委員。

○小田上委員 議会報告会だけでなく市民の意見を聞く場を設けてほしいという趣旨の発言だったと記憶しています。これだと今までどおりでやりますという回答で、かなり後ろ向きに見えると思うので、今後、機会の充実を目指すというのも一つの手かなとは思いますが。

○網谷委員長 小中委員。

○小中委員 手短に、「引き続き、議会報告会等を通じて」は消して、市民の皆さんの声を直接伺う機会を増やしていきたいと考えていますと、それでいいんじゃないの。

○網谷委員長 充実も同じような意見だけど。

○小中委員 充実でもいいんだけど、市民の皆さんの声を直接伺う機会を増やすなり、充実でも。要するに、結論は短くして分かりやすくする必要がありますと思います。

○網谷委員長 今の小中委員の意見ですが、皆さん、よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 それじゃあ、市民の皆さんの声を直接伺う機会を設けて、充実していきたいと考えております、でよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 はい、分かりました。

次は、B班の、議員の成り手不足という点について、どのように考えているか。若い人、女性が参加できる仕組みはつukれないのかという意見・要望ですが、回答としましては、議会改革特別委員会では、改選後すぐに「成り手不足の解消」というテーマで議論を進めてきた。昨年は議員定数の結論を出したが、その前の前半2年間では、ユーチューブの委員会中継やSNSの発信など見てもらえる努力、知ってもらえる努力を行ってきた。その後、仕事の充実ということで決算審査終了後に議会提案をできる仕組みをつくるなど改善を行ってきたという文言になっておりますが、よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 北地委員。

○北地委員 回答というのは、そのときに議会報告会の中で答弁したのがまとめられておると思うんですけど、そこに付け加えるということも可能なんですかね。

○網谷委員長 そうですね。

○北地委員 後半の部分の若い人、女性が参加できる仕組みはつukれないのかという部分に

については、回答がされてないとは思いますが。

○網谷委員長 この文章に、それをプラスするということ。

○北地委員 入れていくのかどうかと、問いかけているんです。

○網谷委員長 北地委員は入れたほうがいいんじゃないかという意味ですね。

○北地委員 まあ答えてないですからね。ここに書いてある若い人、女性が参加できる仕組みはつくれないのかという部分については、答弁はされていないと。それは、しなかったという回答をしているのか、現場が分からないんですが。

○網谷委員長 それを今から入れるということですか。

○北地委員 入れるべきかどうかを検討したらどうかということですか。

○網谷委員長 皆さんどうですか。

小中委員。

○小中委員 大竹市独自でできる話じゃなくて、国がそういう選挙制度をつくらなければどうにもならない。大竹市だけでこういうのをやりますということが言えればいいけど、現実には言えるのかどうかという話ですよ。

女性を増やすのも、クォータ制だっちゃんとしてきていないような国で、ちゃんと答えられるかちゅう話ですよ。自営業者しか立候補できないような選挙制度にすごい問題があると私は思いますけど。このダイバーシティの時代にね。だから、これは確かにそのとおりだけど、どうやって答えるんかちゅう話ですよ。しょうがないと思いますよ。

○網谷委員長 皆さんの意見を聞いているので、小中委員の意見に賛成なのか、北地委員が言われたんで、その辺のところを皆さんにも意見を聞きたいんですが。

小田上委員。

○小田上委員 直接この現場におりました。若い人、女性が参加できる仕組みで小中委員が言われたとおりのクォータ制がどうこうという話も委員会内では出てないですし、女性が参加しやすくなる仕組みって一体何なのかも全く議論はされてないので、この現場では、これまでやってきた取組を紹介したところでとどまっています。

何か付け加えるにしても、この議会改革特別委員会の中で検討した内容しか付け加えられないと思うので、付け加えるのは難しいのかなと思います。若い人向けにというところで行けば、SNSとかユーチューブの例が少しでも引かかるかなという思いでこの説明はしたのかなと思っています。

○網谷委員長 分かりました。ありがとうございます。

議長。

○賀屋議長 基本的に、この回答で済みになっているところについては、当日会場で答弁をして終わっているということで、持ち帰っての検討、伝達ということになってない、会場で返事をした中身でございます。それに後から付け加えて、中身を盛ってしまうようなことになると、会場であんなこと言ってなかったよねということになるので、正直に言ったことだけを要約して書いてある回答については、今から変えていくのもいかなものかと思えます。中には、ボイスレコーダーで録音される方もおるかも分らんので、言ってな

いことを回答で、現場で言ったような状況にはすべきじゃないかなと。持ち帰って伝えておきますとか、持ち帰って担当課に検討してもらいますとか、そういう意味合いで回答したものについては、正式な回答として空白になっている部分の詰めをしていただければいいんじゃないかと思います。

○網谷委員長 ありがとうございます。

対応としては済みになっておりますのでね。

北地委員。

○北地委員 会場で答えてないからこれで収めるとして、回答の内容としては、今までの取組としてはこれだけしかしてないんですよという答えにならないかなと。「議会改革特別委員会では、改選後すぐに」なんかを消して、今までの取組としては「成り手不足の解消」というテーマで議論を進めてきたと、そのぐらいにしておけば、それ以外のことは取り組んでいませんよという回答になるのかなとは思いますが、いかがでしょうか。

○網谷委員長 小中委員。

○小中委員 済みじゃないやつだけをやればええんやないかっちゃうことですよ、議長が言いたいことは。

もう言ったことはこれなんやから、ほかの班がもう言わんでもええやないかという気もします。だから、残ってる部分だけやりゃええんやないかと私は思います。

○網谷委員長 はい、ありがとうございます。そういうことも含めて、最初に皆さんに確認したんですがね。では、済みのところは確認しません。網かけの、私と西村副委員長が協議した文言だけ、確認していただければと思います。

それでは、玖波公民館のB班、議員の仕事の見える化があれば、定数についても理解が得られると思う。ユーチューブなど定点で長時間なので、要約したものや見てほしい点を発信してはどうかということなんですが。我々の意見は、ユーチューブの編集は大変難しいのではないかとということと、議会だよりなどをより親しみやすく、分かりやすくするなど、議員活動の見える化に努めていきたいという思いでございますという文言にしたんですが、いかがでしょうかね。

小田上委員。

○小田上委員 議会改革特別委員会から答えるときに、議会だより等っていうのが適切なかどうか、所掌が議会改革特別委員会になっているので、議会だよりでやっていきますって議会改革特別委員会に言われるのは違うかなと思います。

編集は難しいですがって書いてあるのが、質問された方も編集を望んでいるわけじゃないと言われていたので、この括弧書きはなくていいのかなと思います。ここを議会の発信力を高めとか、そういう文言に変えてあげればいいのかとは思いますが。ただ、この要約したもの、見てほしい点の発信をしてほしいっていう回答になってない気がするんですが、この要約とか見てほしい点っていうのは、各議員によって違って来るんだろうと思いますので、なかなか議会内でっていうのは、どう取り組んだらいいのかっていうのが分からないところです。

以上です。

○網谷委員長 要するに、議会だよりの文言は消すという意味で。

(発言する者あり)

○網谷委員長 何かほかのものがあります。

はい、どうぞ。

○小田上委員 議会だより等をじゃなくて、議会からの情報発信はより親しみやすく、分かりやすくするなどいいんじゃないですかね。

○網谷委員長 議会からの情報発信をより親しみやすく、分かりやすくするなど、議員活動の見える化に努めていきたいと思いますということでもよろしいですかね。

○小田上委員 すみません、議会活動ですかね。議会ですよ、委員会とか、議会内で行けるのは。なので、議員活動じゃなくて議会活動のほうがいいのかと思います。

○網谷委員長 議会活動ね。議会活動の見える化に努めていきたいと思います。

小中委員。

○小中委員 議会活動を、見える化みたいな何かにするんじゃなくて、議会活動をより分かりやすくするように努めていきたいと思いますのでええと思うんよね。見える化みたいな訳の分からん言葉を使わないように、単純に分かりやすくすることが必要だと思う。

○網谷委員長 議会活動を分かりやすくするために努めてまいりたいと思います。

(発言する者あり)

○網谷委員長 より簡単ということですよ。皆さんどうですかね。

(発言する者あり)

○網谷委員長 じゃあ、より簡単に議会活動を分かりやすくするために努めてまいりたいと思います。よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 はい、分かりました。

それでは、次の玖波公民館のB班の議員定数について市民にアンケートをさらに行ってほしいという質問でございますが、今後、議員定数の見直しを検討する際には、市民の皆さんの声をどのような形で反映させていくか、手法を含めて検討していきたいと思いますが、ということなんですが、手法と答えたんですが、どうでしょうか。アンケートももちろん手法に入るんですかね。よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 じゃあ次に、松ヶ原集会所のC班ですね。定数削減でも少数の反対意見の尊重が大事ではないか。これからも市民の皆さんの声を大切にして、議会活動を進めていきたいと思います。どうでしょうか。よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 それでは次に、総合市民会館のC班ですね。自らの利害に関係するので議員自身が削減するのは難しいので、第三者委員会などを設置して検討してもらったほうがいいのではないかと質問なんですが、今後、議員定数の見直しを検討する際には、改めて検討の在り方を考えていきたいと思いますが、どうでしょうか。

(発言する者あり)

○網谷委員長 これでは、網かけの空白部分は埋まったので、もう一度確認しましょうか。

1番目のA班の選挙の看板・ポスターは無駄、お金のかからないことを考えてほしいという意見で、国のルールですから、大竹市議会では処理できませんとなろうかと思うんですが、よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 次に、市民の意見を聞く場を多く設けてほしいということで、市民の皆さんの声を直接伺う機会を設けていきたいと考えております。よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 次に、議員の仕事の見える化があれば定数についても理解が得られると思う。ユーチューブなど定点で長時間なので、要約したものや見てほしい点を発信してはどうかということですが、議会からの情報発信をより親しみやすく、分かりやすく、議会活動を分かりやすく行ってまいりたいと思います。よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 次に、議員定数について市民にアンケートをさらに行ってほしいという要望に対しては、今後、議員定数の見直しを検討する際には、市民の皆さんの声をどのような形で反映させていくか、手法を含めて検討していきます。よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 次に、定数削減でも少数の反対意見の尊重が大事ではないかということですが、これからも市民の皆さんの声を大切にして、議会活動を進めていきたいと思っております。回答文書にしておるんですが、よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 最後に、自らの利害に関係するので議員自身が削減するのは難しいので、第三者委員会などを設置して検討してもらったほうがいいのではないかと質問に対して、今後、議員定数の見直しを検討する際には、改めて検討の在り方を考えていきたいと思っております。よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 それでは、議会報告会の議会改革特別委員会の所掌については、今の文言で回答させていただきますので、また改めてサイドブックに差し替えを掲載していきたいと思っております。よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 それでは、そうさせていただきます。

では、日程第2、議会改革特別委員会中間報告(案)についての確認でございます。

こちらも西村副委員長と協議の上、作成しました。そして、議長にもサイドブックに掲載する前に確認していただきました。皆さんは掲載から1週間程度経ちますので、熟読されていると思いますが、どうでしょうか、この文言について。

小田上委員。

○小田上委員 中間報告(案)の作成、ありがとうございました。

全体的にいいと思うんですけど、1点だけ。2ページ目の中段辺り、ネット中継のところなんですけど、「その結果、従来より実行しております委員会のテレビ中継・ネット中継に至りましては」というところ。これテレビ中継という言葉は要らないんじゃないかなと。全部ネット中継だけでいいんじゃないかなと思いました。

以上です。

○網谷委員長 ありがとうございます。皆さん、どう思われましたか。要らなかったら削除すればいいんですが。

(発言する者あり)

○網谷委員長 そうですか、分かりました。皆さん、それでよろしいですかね。

[「賛成です」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 それじゃあ、テレビ中継は削除いたします。ありがとうございます。

ほかにございますかね。

なければ、これで行かせていただきたいと思いますが。正副委員長と議長の確認はいただいていますので。

議長、どうぞ。

○賀屋議長 今の小田上委員のテレビ中継はしてないということなんですかね。本会議の中継はテレビでも見れますよね。要するに、ネットは接続してないケーブルテレビの方は、ちゅピCOMのチャンネルで見れますよね。それはテレビ中継という意味合いになるんですか、ならないんですか。

○網谷委員長 小田上委員。

○小田上委員 すみません、本会議のことに触れてなかったので、委員会のという前置詞が全部ありますよね。なので、本会議はネット中継はされてないですね、録画を後でネットに上げて、ちゅピCOMで放送されてるだけなんで。

なので、委員会のことしか触れてないので、ネット中継なのかなというところですね。

○網谷委員長 はい、そうですね。言葉自体はそのほうが正解な気もするんですが、どうでしょうかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 最初のテレビ中継は削除いたします。

ほかにございますかね。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 なければ、このままこの削除だけで通させていただきたいんですが、よろしいですかね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 それでは、そうさせていただきます。

それでは、日程第2は終了させていただきます。

日程第3、そのほかでござりますが、これは前々回の委員会で、子ども議会の議事録の質問が出たと思うんですが、事務局隣の図書室に保管しているとのことですので、興味のある方は随時閲覧していただいても結構かと思えます。また子ども議会について、出るか

も分かりませんので、参考のためにも皆さん見ていただいたほうがよろしいかと思えます。  
ということで、よろしくお願いします。

そのほかにございますかね。

[「なし」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 次回開催日は、本会議の定例会の特別委員会をもって行いたいと思えます。

6月15日、木曜日ですね。基地周辺対策特別委員会の終了後になりますので、よろしくお願いいたします。

[「これで最後」と呼ぶ者あり]

○網谷委員長 一応そのつもりでございます。

15日にも総括の関係で、いろんな意見を出してもらおうかと思えますので、その時点でまたほかに意見がございましたら、8月末までが任期ですのでね。どうしても今期中にやっておかなきゃいけないという案件が出ましたら、もちろん集まっておりますので、それはまた次回に一緒に話しさせていただければと思えます。

以上でよろしいですかね。

それでは、議会改革特別委員会をこれにて閉会といたします。お疲れさまでございました。

10時42分 閉会